

「通知または情報公開文書」

本院では、東京理科大学と共同で以下の研究を行います。本研究の対象者に該当する可能性のある方で研究への参加を希望されない場合、又は研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究の名称

医師へのアカデミック・ディテリングが処方行動に与える影響に関する研究

2. 研究の目的

アカデミック・ディテリングとは、薬剤師が医師に対し科学的な根拠に基づく医薬品情報提供を行うことを指します。この研究では、薬に関して効力、体の中での薬の動き、併用薬といった薬学的視点を用いた比較情報を医師に対して提示（アカデミック・ディテリング）し、その効果を調査することを目的としています。

3. 研究の対象者

動脈硬化性疾患の「高リスク」に該当する方

4. 研究の方法と期間

・研究の手順

アカデミック・ディテリングの実施

1. アカデミック・ディテラー（薬剤師）が医師に対し、アカデミック・ディテリングを行います。
2. アカデミック・ディテリングを行う際には、専用の資料を用います。
3. アカデミック・ディテリングを最初に行った日を試験開始日とし、試験開始日から3か月間を試験期間とします。アカデミック・ディテリングは試験開始後はじめの2週間で2回以上を行い、その後1か月に1回の頻度で行う予定です。

試験終了後

アカデミック・ディテラーが、東京理科大学小茂田研究室が株式会社ソフィアと共同開発した「臨床薬剤師支援システム」中の処方経過記録システムに情報（個人を特定できる情報ではありません）を入力します。入力されたデータを元に、東京理科大学小茂田研究室が解析を行います。

5. 提供いただく試料・情報の利用目的

ご提供いただく情報は、冠動脈疾患の高リスク群に該当する患者様の抽出、及び治療内容の比較のために用いられます。

また、本研究によって得られた処方内容や処方変更理由といった情報は今後データとして蓄積させ、試験によって得た医薬品間の効果や副作用などを比較する研究へ利用させていただくことを予定しております。

6. プライバシーの保護について

本研究は個人情報収集しないため、この項目には該当しません。

7. 研究の資金源や利益相反に関する状況

(1) 研究資金

・この研究の費用は、文部科学省科学研究費補助金から支出されます。

(2) 利益相反について

・この研究には、企業や団体は関与しません。企業等との利害関係はないため、利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じません。

8. お問い合わせ先・研究の実施体制

研究責任者：東京理科大学薬学部 医療安全学研究室教授 小茂田昌代

連絡先：TEL ; 04-7121-4134 E-mail ; komo1207@rs.noda.tus.ac.jp

個人情報管理者：東京理科大学薬学部 准教授 真野泰成

研究協力者：各施設に在籍するアカデミック・ディテラー